

平成25年12月26日

戸田市長 神保 国男 様

戸田市中心企業振興会議 会長 黒田英一

### 戸田市産業ビジョンの骨子について（提言）

戸田市中心企業振興会議（以下「振興会議」という。）では、平成23年12月22日付けで、住工混在の問題と地域住民との調和について3項目から成る提言を行い、市長から方向性について概ね同意する旨の回答を得た。次いで、平成24年度中には、当該3項目のうち「産業ビジョン確立に向けての検討」について実現していくため、各産業団体の協力のもと市内実態調査をアンケート形式により行った。

そして、平成25年度においては産業ビジョンの方向性を得るため、振興会議委員それぞれが描くビジョンについて、商業部会と工業部会に分かれて検討と発表、全体の調整会議を行ってきた。

この度、振興会議における審議を経て、戸田市産業ビジョンの骨子について方向性を得たことから、戸田市中心企業振興会議提言処理要領第4条により経過報告書を添え、下記のとおり提言する。

### 記

#### 1 戸田市産業ビジョンの骨子

##### (1) 戸田市産業ビジョン

「事業者と行政は共に連携し、働く一人一人の輝きを高めて事業を発展させ、地域産業の多様性と結びつくことで大きな産業力を形成し、社会的責任を果たしながら、地域社会を支えていく。」

##### (2) 分野別テーマ（ビジョンを具体化するためテーマごとに細分したもの）

###### ① 個からの成長

「働く一人一人、個々の事業者といった産業の最小単位から、時代の要請や技術に対応して、競争力を高める。」

## ② 地域との融合

「地域に存在する個の要素同士（産業の最小単位）が、従来の枠組みを越えて引き合い、強固な地域産業力となるよう、結びつきを高める。」

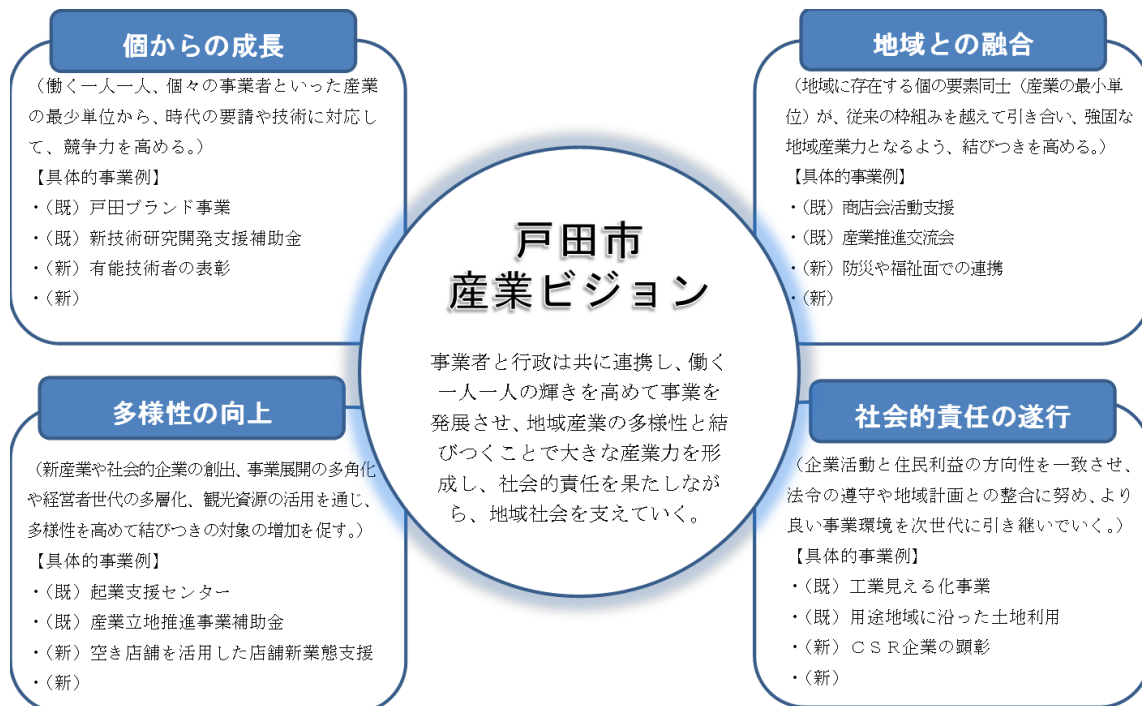
## ③ 多様性の向上

「新産業や社会的企業の創出、事業展開の多角化や経営者世代の多層化、観光資源の活用を通じ、多様性を高めて結びつきの対象の増加を促す。」

## ④ 社会的責任の遂行

「企業活動と住民利益の方向性を一致させ、法令の遵守や地域計画との整合に努め、より良い事業環境を次世代に引き継いでいく。」

### (3) 体系図



## 2 振興会議審議経過

別紙経過報告書のとおり

## 3 振興会議の提言

振興会議では、戸田市のまちづくりにおいて産業が果たす役割の大きさを鑑み、その産業力を向上させていく将来像をどのように描き、そこに向かってどのように推進していけばよいかについて、大きな視点に立った実態調査や議論を行ってきた。

議論では、以下について振興会議としての結論を得たところである。

- ・地域経済や商店会といった集合体をどのようにするのかという従来型の発想に先立ち、まずは、それぞれの企業や商店（以下「中小企業」という。）、そこで働く人といった「個」のレベルからの成長を促し、それらを束ねた結果として、地域産業力が高まっていくという順序で考えていくことが重要である。その際、消費者や取引先のニーズは刻々と変化しているため、競争力を高めるためには常に最新の動向や技術に対し注意を払っていくことも重要である。

- ・戸田市には技術力や特色を持った多様な中小企業が集積しており、中小企業同士が連携し、既存事業を発展させたり、新しい事業展開を生み出したりすることで、戸田市の地域特性の強みを発揮して行くことができるよう、その引き合わせを生み出す場や人材を創出していく必要がある。その際、ビジネスの世界はボーダレスであることから、連携の範囲として市域といった従来の枠だけにとらわれず、国・県・関連機関・大学や支援機関との連携強化を図り、地域の垣根を超えた広域連携という新たな発想を持つことが重要である。

- ・中小企業同士の連携を生み出すためには、母数となる企業数や接点となりうる業種を増やすことが重要である。そのためには、新たな産業の誘致や起業を促したり、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスといった新しい概念を取り入れたり、海外展開など事業の選択肢を広げたり、新たな活力を取り入れるため若い世代の経営者を増やしたりすること、あわせて、市外からの関心を高め投資を促すために地域資源を活用していくことが大切である。

- ・産業活動には労働力や購買力、土地空間を必要とすることから、市街化の進んだ市内において積極的に活動するためには、住民生活との共存や連携についても欠かすことのできない要素である。企業活動と住民利益が乖離することのないよう努め、より良い事業環境を次世代に引き継いでいくことが必要である。

こうした議論を踏まえ、戸田市産業ビジョンの骨子を上記のとおり定めたところであるが、当該ビジョンに実効性を持たせるためには、それと整合した形での、個別事業を想定した実施計画を定めていくことが重要である。

については、戸田市産業ビジョンについて、振興会議として提言した内容を、市としての採用に向け検討されるとともに、成果指標を設定し進捗管理が図られるような具体性のある計画を策定されるよう提言する。その際、同計画の進捗管理については、振興会議においても一部を担ってまいりたい。

なお、当該産業ビジョンは骨子であることから、実施計画の策定における検討の中で、産業ビジョン自体に修正が加わることも想定されるものであり、振興会議としても了知するものであることを申し添える。

以上

## 戸田市中心企業振興会議経過報告書

平成24年10月25日	平成24年度第1回戸田市中心企業振興会議開催
平成24年11月7日	戸田市産業振興に関する市内企業実態調査を実施
平成25年3月22日	平成24年度第2回戸田市中心企業振興会議開催
平成25年5月31日	平成25年度第1回戸田市中心企業振興会議開催
平成25年7月25日	平成25年度第2回戸田市中心企業振興会議開催
平成25年9月20日	平成25年度第3回戸田市中心企業振興会議開催
平成25年11月22日	平成25年度第4回戸田市中心企業振興会議開催

### 審議内容

平成23年度に開催した戸田市中心企業振興会議（以下「振興会議」という。）においては、本市の総合振興計画と整合する形で、産業振興ビジョンを確立してはどうかという意見があった。

そして平成24年度には、産業振興ビジョンを策定するための前段階として、市内産業の現況と課題の把握及びその基礎となる情報を収集することを目的とした市内企業実態調査を実施した。

平成25年度には、市内企業実態調査の分析結果を基礎資料として、戸田市産業ビジョン策定に向けた検討会議を第1回～第4回開催し、これまで審議された内容を基に、「戸田市産業ビジョンの骨子」として市長への提言書にまとめた。審議の経過については、以下のとおり報告する。

#### 1 戸田市産業振興に関する市内企業実態調査の実施

平成23年度には「住工混在の問題と地域住民の調和について」3項目から成る提言を行い、当該3項目のうち「産業ビジョン確立に向けての検討」について、戸田市第4次総合振興計画の基本目標の一つである「活力と賑わいを創出できるまち」を具体化するため、市内で操業する事業者自らが課題等を分析し、市との協働で戸田市の産業の将来ビジョンを検討してはどうかという意見を要望した。

市からの回答としては、第4次総合振興計画と整合した形で、戸田市の産業ビジョンを定めることは、大変意義があるが、ビジョンを策定する前段階として、現在の戸田市産業の姿を知るためにはアンケートを行うことが重要であり、多くの事業者の実態把握が行われるよう、振興会議参面の各経済団体の協力の下でアンケート等を実施し、現実的かつ事業者の主体的な行動を促すようなビジョンを振興会議で研究していくことを期待したいとする旨の回答を得た。

そこで、平成24年度には、提言の中で要望した「産業ビジョン確立に向けての検討」につい

て実現していくため、市内産業の現況と課題を把握し、その基礎となる情報を収集することを目的とした「戸田市産業振興に関する市内企業実態調査」を実施することとなり、平成24年10月25日に第1回振興会議を開催し、アンケートの実施方法や調査内容等の詳細について検討・審議を行った。

振興会議での審議を経た後、平成24年11月7日には、振興会議参画の各経済団体の協力の下、戸田市内の事業所を対象とした実態調査を実施し、以下の回答結果を得ることができた。

- ・調査期間 平成24年11月7日（水）から平成24年12月10日（月）まで  
※調査用紙を対面により配布・回収した一部の団体・事業所については、回答期限を平成24年12月20日（木）までとした。
- ・調査基準日 平成24年11月15日（木）
- ・調査依頼件数 2,234件
- ・回答件数 729件  
※回答のあった事業所のうち、最も多い業種は製造業で223事業所（構成比：30.6%）であり、次いで、建設業で108事業所（構成比：14.8%）という結果となった。
- ・回答率 32.6%

この回答結果を受けて、平成25年3月22日には第2回振興会議を開催し、アンケートの集計結果及び分析結果について、共通質問、工業・建設・物流系の事業所向けの設問、商業・サービス業・その他の事業所向けの設問ごとに各委員へ報告し、平成25年度以降に実施する戸田市産業ビジョンの骨子づくりの基礎資料として採択することを承認された。

## 2 戸田市産業ビジョンの骨子検討

平成25年度は、戸田市産業振興に関する市内実態調査を基礎資料とし、戸田市の目指すべき産業ビジョンについて、具体的な検討作業を行うこととなった。平成25年5月31日に行われた第1回振興会議では、「委員個別による戸田市産業ビジョンの提案」というテーマで各委員から市の目指すべき産業ビジョンについて自由に提案し、振興会議としての理想像について認識の共有化を図った。さらに、平成25年7月25日に行われた第2回振興会議では、各委員から提案された産業ビジョンの内容を整理し、工業部会・商業部会という分科会に分かれ、それぞれ専門的な見地から意見交換を行い、部会ごとで産業ビジョンの検討と発表を進めてきた。

そして、平成25年9月25日に行われた第3回振興会議では、戸田市産業ビジョンの骨子と

して、以下の4つの分野別テーマと個別事業を集約した「戸田市産業ビジョン（素案）」について審議を行った。

- ・「個からの成長」

第2回振興会議で行った分科会形式による意見交換で工業部会・商業部会ともに、共通のキーワードとして挙げたのが、戸田市産業ビジョンの方向性として、その地域で働いている人や個別のお店・企業にスポットを当て、産業の最小単位から成長や競争力を高めることが重要なのではないかという意見であった。そこで、働く一人一人を「個」という言葉に置き換えて、働いている人や企業の輝きを高めるために「戸田ブランド事業」「新技術研究開発支援補助金」の更なる推進、新たな事業として「有能技術者の表彰」などを実施し、個の成長や競争力を高めることを目的として、「個からの成長」というテーマ設定を行った。

- ・「地域との融合」

成長した人や企業が点として存在するのではなく、その点が地域経済を支える大きな産業力の集合体として結びつかなければ、強固な地域産業は生まれにくい。そこで、地域間の結びつきを高めるための施策として「商店会活動支援」や「地域連携機会の創出に係る施策」を講じ、また、引き合わせを行う人材の「コーディネーター」を創出し、地域との融合を図ることで、戸田市の産業が社会全体から必要とされる集合体として存続するのではないかという結論に至り、「地域との融合」というテーマ設定を行った。

- ・「多様性の向上」

地域間の結びつきを促進するためには、母数となる企業数や接点となりうる業種を増やすなどして、新産業の創出や新業態の進出を促していくことや、事業者の活動の場を海外も含めて多角化していくことが重要である。今後は、既存の事業を強化するとともに、空き店舗を活用した新業態進出を支援するなど、産業の新陳代謝を良くする仕組みを構築することで、新たな事業展開を生み出し、戸田市の地域特性の強みを発揮していくことが必要であることから「多様性の向上」をテーマとして設定した。

- ・「社会的責任の遂行」

個人や企業は自らの利潤追求のために他の企業や個人または地域や社会を無視してはならない。社会において望ましい企業として行動すべきであるという考えを持ち、企業活動と住民利益が一致するよう、法令遵守や地域計画との整合に努める必要があり、それによって生まれた良い事業環境や経営状況を次世代に引き継いでいくことも重要であるため、「社会的責任の遂行」というテーマ設定を行った。

以上の振興会議での審議を経て、戸田市産業ビジョンの骨子について方向性を得たことから、第4回振興会議で当該提言を採択し、市へ提言を行うことに至った。